

『PCA 個別原価会計シリーズ』 バージョン1.0、リビジョン6.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH220218

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。

動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

■互換性に関する変更点の有無について

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「1.07」に更新しました。

以下のデータ構造を変更しました。

- ・eDOC連動
- ・eDOCアップロード領域
- ・eDOCアップロード設定

新規領域作成時に登録するデータを変更しました

- ・消費税申告書設定項目

◇APIの変更について

仕訳伝票で検索機能を強化

◇汎用データの変更について

以下の汎用データレイアウトを変更しました。

- ・仕訳(Ver6)

■主な機能強化・仕様変更点

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇リブランディング対応

- ・PCAクラウド PCAサブスクのリブランディングに対応しました。

◇『PCA Hub eDOC』連携対応

- ・弊社の新しい文書管理システムである『PCA Hub eDOC』と連携するように各処理を修正しました。

◇パスワードレス認証、認証アプリケーションを利用したワンタイムパスワード認証対応

- ・独自認証の認証方式に「パスワードレス認証」と、認証アプリケーションを利用した「ワンタイムパスワード認証」を追加しました。
- 機能の詳細、設定手順はマニュアルをご覧ください。

◇検索機能強化

- ・仕訳帳の条件指示に詳細条件タブを追加し、詳細条件を設定する、勘定科目／補助科目／取引先／摘要／金額の設定と「摘要が未入力の仕訳のみ出力する」のチェックボックスを追加しました。
- ・仕訳帳の条件指示で「詳細条件を設定する」にチェックが付いている場合は、「詳細条件あり」の文言を出力します。
- ・総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳、補助元帳の条件指示に詳細条件タブを追加し、詳細条件を設定する、伝票番号／相手勘定科目／補助科目／取引先／摘要／金額の設定と「摘要が未入力の仕訳のみ出力する」のチェックボックスを追加しました。
- ・総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳、補助元帳の条件指示で「詳細条件を設定する」にチェックが付いている場合は、「詳細条件あり」の文言を出力し、繰越金額は表示しません。
- ・仕訳検索修正の条件指示に「摘要が未入力の仕訳のみ出力する」のチェックボックスを追加しました。
- ・振替伝票などの検索ダイアログに「摘要」を追加し、指定された摘要文字列を含む伝票を検索できるようになりました。

◇仕訳の汎用データの完成仕掛指定

- ・仕訳の汎用データに借方完成区分、貸方完成区分を追加しました。
- ・汎用データの受入に「指定された完成・仕掛で受け入れる」のチェックボックスを追加し、汎用データで指定されている借方完成区分、貸方完成区分に従って受け入れることが可能になりました。

◇国税電子申告のバージョンアップに対応

- ・国税電子申告・納税システム (e-Tax) の「令和2年4月1日以後終了する課税期間分(4年1月以降ご利用分)(手続きバージョン 20.0.1)」の様式に対応しました。
- ・通知希望区分(加算税)に対応しました。

◇通知希望区分(加算税)への対応について

- ・e-Taxの仕様変更により、「加算税の賦課決定通知書」を書面で受け取るか、e-Taxによる通知で受け取るかを選択できるようになりました。
- ・「消費税申告書・付表」の「電子申告データ出力」-「基本情報」に、選択するための項目を追加しました。

以上